ZOOMによる学習支援に向けての情報モラル（中学部）

● 目的

- ・ 皆が気持ちよくオンラインによる学習活動を行うために何を意識したらよいか考えさせる。
- ・ ZOOMを利用するにあたってのルールを決める。

● 日時

4月27日（月）第1時限 1、2年生合同

● 方法

- 皆がオンラインで顔を見合わせて学習活動を行う上で、意識した方がよいことを考える。
 - ・ 普段教室で実際に会って話していたときとの違いは
 - ・ 会話に時間差が生じて実際に話すより、話しぶらい。
⇒わかりやすく、はっきり抑揚をつけて話す。人が話しているときはしっかりと聞く。
 - ・ 表情が伝わりにくい。
⇒表情を意識的に豊かに。反応がないと話している方は話しぶらいので、反応は3割増しで。
 - ・ どんなことをされたら不愉快に思うか
 - ・ からかい ・ 話を聞いてもらえない
- ZOOM利用時のルール決め
 - ・ 家庭で授業を受けているが、学校における通常の授業と同じ状況として考える。
 - ・ スマホ等は使わない。LINEなどで友だちと会話しない。
 - ・ ZOOMの次の機能は基本的に使わない。授業者が許可した場合のみ。
 - ・ チャット機能（人間ふたつのことに集中はできない。質問があれば、全体に話す。同じような疑問を持っている友だちもいる）
 - ・ レコーディング機能（ZOOMの録画はホストが許可しなければならないが、生徒が独自にアプリを使って画面を録画することは可能。しかし、個人情報、肖像権に関わってくるので録画はしない。
 - ・ バーチャル背景
ノートなどを画面に提示することがあるかもしれないので、その場合は白いのでバーチャル背景と同化してしまい、不具合を起こす可能性がある。授業を受ける際、コンピューターの後ろの背景は、皆に映ってもいいようにしておく。

● まとめ

とても便利なツールなので、みなが良い心をもって利用すれば、素晴らしいツールになる。しかし、悪意をもって利用すれば、どれだけでも人が嫌がるようなことを行うことができる。皆が快適にネットを利用していくためには、何をしたらよいか考えて行動して欲しい。